

# 地域連携パス部会での検討の経緯

## 東京都保健医療計画（平成20年3月改定）

標準的な地域連携クリティカルパスを作成し、脳卒中を発症した患者が急性期病院から円滑に回復期、維持期の医療機関を受診できる仕組みを構築する。

## 検討の経緯

### 平成20年度

- ◆パスの標準化（統一化）を目指していくことを決定。
- ◆既に稼動している各パスは、地域特性等が考慮されたもの  
⇒ 短期間のうちに改変することは難しく、標準化（統一化）には、段階を踏む必要があることを確認。
- ◆各パス活用者間の顔の見えるかたちでの情報の共有化が必要  
⇒ 平成21年度以降、パス合同会議の開催を決定。

### 平成21年度

- ◆4回にわたってパス合同会議を開催 ⇒ 情報共有化「パスを1つに標準化（統一化）すべき」という意見多数  
⇒ 平成22年度により具体的な検討が必要

## 東京都標準様式の作成

### 平成22年度

- ◆地域連携パス部会内に3つのワーキンググループを設置し、以下の各課題について検討。

- ① 区部の脳卒中地域連携パスの標準様式の検討
- ② 患者説明用のオーバービューの標準様式の検討
- ③ 在宅期パスの標準様式の検討

## 東京都標準様式の作成

- ◆当面、現在の事務局はそのまま運用  
⇒ 東京都標準様式への切替は、事務局の判断により順次行う。  
(東京都標準様式への切替等の状況 ⇒ パス合同会議で報告)

### 平成23年度の取組

## 東京都標準様式の普及・活用促進